

## 保育計画成果報告書

法人名等	学研ココファン・ナーサリー
施設名	ココファン・ナーサリー田端
報告者（役職）	境 みどり（園長）
住所・連絡先	東京都北区田端 1-12-17
	☎ 03-3824-2101 E-mail mi.sakai@cocofump.co.jp

### ○タイトル（保育計画）

ひとりひとりの発達に合わせての環境設定～子どもの成長に寄り添う～

### ○主な助成備品

太鼓橋 大型アクティビティキューブ キッチン ソファ 等

## 1. 保育計画策定の目的

- ・低年齢児からの体幹やバランス感覚と運動制御の早期開発
- ・落ち着いた環境設定で遊びの展開
- ・配慮の必要な子に落ち着ける環境設定

## 2. 具体的な実施内容

### 【ミニゴマ】

バランス感覚を育てる。



少し傾くとバランスを崩しやすいコマなので、定期的に遊び、バランスを保てるように行った。

### 【太鼓橋】

運動感覚と足裏を刺激して脳の発達の手伝いをする。



園庭がないためいつでも遊べるように室内に設置することにより、好きな時に遊べるようにした。

### 【組み立て遊びパネル】

様々なパネルを通して遊びを発展させる。



いつでも遊べるよう部屋に常備して個々で色々な遊びを展開できるよう環境設定した。

### 【キッチン】



本物のキッチンのようになっているため、ダイニングキッチンのような空間を作り、じっくり遊べるように環境設定をする。

### 【ソファ】

自宅のダイニングのようにつろげる空間。



図書コーナーのように使用したり、ダイニングのように使用したりと、日々の子どもの遊びにより環境設定を変更した。

### 【ひも通し】

指先の巧緻性を養う。



集中できるように幼児と2歳児は机上に設定、1歳児はコーナーを作り行った。

### 【テント】

一人の空間を大切にする。



友だちとも仲良く使用。

## 【おちつき犬】



段ボールで犬小屋作り。

### 3. その成果と評価

低年齢児からバランス感覚と運動制御の早期開発を経験してきたため、転ぶ子どもが少なくなってきた。また、つまずいても自分でバランスを保つということが、体で覚えてきているように感じる。

椅子に座るときもずり落ちたり、腰が曲がることもなくなってきた。

太鼓橋のように頭で手と足の動きを考えながら体制を変更することはなかなか難しいことだが、公園と違い部屋にあり、高さも低いので1歳、2歳で十分経験できた為に成功できたことと思う。

組み立てパネルでは、全年齢でそれぞれの遊び方をしていた。

幼児クラスはマグブロックを使用して、ホワイトボードに着けて立体的にもものを使ったり、沢山ある鍵をどうしたら開けられるか考えて行ったりしていた。

1・2歳児はカタカタ動く車や人形、ホワイトボードに手作りの電車のカードを貼って遊んだりしている。

配慮の必要な子どもはカタカタなって落ちていく人形や鍵の音で遊びに集中できた。

ひもとおしでは幼児クラスでは、ネックレスや装飾などを自分で考え作成している。

1・2歳児では、ひもを通すのが難しいが保育士と一緒に根気よく続けることにより、ひもを送るということを獲得し、自分で通せるようにまでなった。

テントでは、配慮の必要な子どもだけでなく、低年齢児がイライラして手が出そうな時にテントにお気に入りの玩具を持って入り、1人でじっくり遊びこむことにより落ち着くことができ、そうすると他児も受け入れられて一緒に入ることもできた。

落ち着き犬はただ抱くだけではなく、自分たちのクラスに招き入れたことにより、犬小屋作りをして、犬の空間を作ってあげるという発想に繋がった。小屋の中にはタオルが置かれている。

様々な玩具が対象年齢だけでなく、全ての年齢において遊べるものであった。

0歳児のミニゴマ、1・2歳児の太鼓橋は、最初から経験できた子どもと途中入園の子どもとでは、運動面や椅子に座る姿勢などの差があったが、今後も検証していきたい玩具と思っている。

幼児クラスは特にソファやキッチンを入れたことにより、縦割り保育を導入して子どもの主体性が育つ保育への取り組みを考えるようになる機会となった。

各クラスの担任がそれぞれの玩具でどう子ども達が遊べるかも考え、手作りの玩具を作成し、保育士も子ども主体に環境や保育を考える良いきっかけとなった。

#### 4. 今後の課題と展望

0歳児から経験した子どもが5歳児になった時に、乳児時期に経験しなかった子どもとどう差がでるのか、また、差がないのかを観察、検証していきたい。

太鼓橋と組み立てパネルは大きく持ち運びが大変なため、1度移動するとなかなか移動しないところがあるので、2階施設ではあるが、やりたいときにやれるにはどうしたいのかなども職員間で話し合っていくことが大切かと思う。

以上